

2012 年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 活動記録



記入日 2012年12月3日

実践団体名		柳井市立小田小学校		
連絡先		0820-22-0835		
プランタイトル		いつか来る 南海・東南海地震に備えて		
		番号*	詳細	
1 プランの対象者		2,3,8	本校の全校児童・教職員	
2 対象災害種別		1,2,3	東南海、南海地震等およびそれに伴って起こる津波 台風や暴雨による洪水や土砂災害	
3 プランの目的		2,4,6、 8,9	自助の心と共助の心を培う。 地震や津波、台風などの自然災害の仕組みや特徴を 知り、安全に避難できるようにする。	
4 協力・連携先		1,3,4、 5	学校支援ボランティアや学校運営協議会、下関気象 台、大島商船高等専門学校、大島防災センター	
5 プログラムの種類		4,5,6,7,8,9,10,11,14,16		
参考 先進 事例	活動年度	年	団体名	宮城教育大学附属小学校
	参考内容	教材、教具の開発 専門家による特別講義 体系化された防災教育の取り組み		

※ 赤枠は別紙「記入上の留意点」の各項目から選択し、記入してください。

地域特性に 応じたアレ ンジ・工夫点	学校が河口に位置していることから、地震のために起こる津波を対象とする。 近隣の防災センターに行き、地震や津波の実験や体験をする。 高専の教授に出前授業をしていただく。
実施スケジ ュール内 容・成果*	4月：校内研修の研究主題の決定、年間計画の検討・決定 5月：兵庫県舞子高等学校 諏訪清二様来校 6月：大島商船高等専門学校の教授による出前授業 6月：地域ふれあい参観日における救急法体験会（保護者対応） 1学期：3年、6年、特別支援学級2組の授業研究会 夏休み：親子料理教室における防災クッキング 10月：料理クラブ等における防災クッキング 10月：兵庫県舞子高等学校 諏訪清二様来校 10月：「避難経路を歩いてみよう」（全校児童対象）
全体の反 省・感想・課 題	・どの学年の児童も下地がなく、1年目であったため、系統性をも って指導することができなかった。今後、続けて指導していく中 で、系統性のある防災教育計画を作る必要があると感じている。
今後の継続 予定	・防災訓練前後の各学級での指導の徹底及び終了後の教師による振 り返りの会の実施 ・6年間を見通した系統性のある小田小学校防災教育計画の作 成

2012 年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 活動記録



【実施スケジュール詳細】

4月：校内研修の研究主題の決定、年間計画の検討・決定

→主題「自ら考え、判断・行動できる児童の育成～防災教育を通して～」

- ・ 各学級で年1回以上の防災教育授業研究発表
- ・ 各学年の防災教育年間計画の見直し

5月：兵庫県舞子高等学校 諏訪清二様来校

→校内視察、避難訓練について指導（校長、教頭対象）

講義「防災教育の考え方と進め方」（全教職員対象）

5月：避難訓練（地震・津波対応）

→下関気象台の方を講師として派遣依頼

6月：大島商船高等専門学校の教授による出前授業

→上学年、下学年それぞれ1時間ずつの授業（全校児童対象）

6月：地域ふれあい参観日における救急法体験会（保護者対応）

1学期：3年、6年、特別支援学級2組の公開授業・協議会

夏休み：親子料理教室における防災クッキング

→栄養教諭、栄養士並びに本校教職員、希望児童及び保護者が参加

10月：料理クラブによる防災クッキング（火おこし→ご飯、味噌汁作り）、探検クラブによるパン作り（火おこし→パン作り）

10月：兵庫県舞子高等学校 諏訪清二様来校

→公開授業（4年総合）

授業協議と講義「防災教育の考え方と進め方Ⅱ」（全教職員対象）

10月：「避難経路を歩いてみよう」（全校児童対象）

→・地域の方と一緒に（6年生が1年生の手をひいて）

11月：避難訓練（火災対応）

2学期：1年、4年、5年の公開授業・協議会

下関気象台の方をお招きして避難訓練（5月）

大島商船高等専門学校出前授業（6月）



**2012 年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体)
活動記録**



A large, empty rectangular box with a thick blue border, intended for recording activities.

2012年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体)

活動記録 記入上の留意点



活動記録の作成にあたり、赤枠の項目について、以下を参照し該当番号を記入し、具体名称等を詳細欄に記入をお願いします。

「その他」を選択した場合は、詳細欄に具体内容を記入してください。

1. プランの対象者について (複数選択可)

項目		項目		項目	
1	幼児・保育園児・幼稚園児	8	教職員・保育士等	15	高齢者
2	小学生(低学年)	9	保護者・PTA	16	海外
3	小学生(高学年)	10	地域住民	17	防災関係者
4	中学生	11	社会人・一般	18	全ての人々
5	高校生	12	女性	19	その他 ()
6	大学生	13	障がい者		
7	外国人留学生	14	養護学校児童生徒		

2. 対象災害種別について

項目		項目	
1	地震	5	不審者・犯罪被害
2	津波	6	火災
3	水害	7	災害全般
4	火山噴火	8	その他 ()

3. プランの目的について

項目		項目	
1	遊び・楽しみながらの防災	6	防災に関する知識を深める
2	防災に役立つ資料・材料づくり	7	技術を身につける
3	災害に強い地域をつくる	8	防災意識を高める
4	災害を想定した訓練	9	災害対応能力の育成
5	災害を疑似体験	10	その他 ()

4. 協力連携先

項目		項目	
1	学校・教育関係	6	企業・産業関連の組合等
2	同窓会組織	7	ボランティア団体・NPO法人・NGO等
3	保護者・PTAの組織	8	職業、職能団体
4	地域組織	9	学術組織、学会等
5	国・地方公共団体等	10	その他 ()

5. プログラムの種類について (複数選択可)

項目		項目		項目	
1	イベント・行事	7	学校内クラブ活動	13	体験学習
2	講習会・学習会・ワークショップ	8	その他学校内での時間	14	読書・絵本・読み聞かせ
3	講演会・シンポジウム	9	校外学習・移動教室	15	演劇
4	総合的な学習の時間	10	家庭学習	16	避難・防災訓練
5	教科学習	11	出前授業	17	その他 ()
6	学級活動	12	研究		